

関西MaaS協議会
の取り組みと
未来のビジョン

2024.8.1
関西MaaS協議会



関西の交通事業者連携によるおでかけ応援アプリ

 **KANSAI MaaS**

ルート検索からスポット情報まで
関西2府5県のおでかけを
もっと楽しく、スマートに！

最適ルート
を検索

沿線人気
スポット情報

モデルコース
をご提案

アプリで
決済



1. ここまでの歩み
2. これからへ向けた取り組み
3. 未来へのビジョン

1. ここまでの歩み
2. これからへ向けた取り組み
3. 未来へのビジョン

- 2019年 2月 大阪商工会議所「MaaS研究会」に参加
- 4月 鉄道7社による情報交換会を開始（全8回）
- 10月 関西MaaS検討会設立を発表
- 12月 第1回関西MaaS検討会を開催（全80回）
- 2020年 1月 大阪・関西万博People's Living Lab アイデア提案に応募
- 7月 ビジョン策定ワークショップを開催
- 2021年 12月 関西MaaS推進連絡会議への参加
- 2022年 11月 関西MaaS協議会の設立
「（仮称）関西MaaS」アプリ開発に着手
- 2023年 6月 国土交通省「日本版MaaS推進・支援事業」に「関西MaaS機能高度化事業」が採択
- 9月 関西MaaS協議会拡充（準会員入会）
「KANSAI MaaS」アプリのリリース
- 2024年 2月 関西MaaS協議会改組
- 3月 「関西MaaS協議会設立総会」の開催
「KANSAI MaaS」サービスの追加（レコメンド機能等）
観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」への採択
- 6月 2023年度関西MaaS協議会定時理事会・総会の開催
国土交通省「日本版MaaS推進・支援事業」に「KANSAI MaaSによる交通事業者連携認証基盤への対応」が採択



大阪経済記者クラブ会員各位

記者配布資料

2019年1月10日

MaaS研究会の設置およびキックオフセミナーの開催について

【お問合せ】大阪商工会議所 経済産業部（竹中、玉川）
TEL 06-6944-6300

- 大阪商工会議所は、次世代の新交通サービスとして期待される「MaaS (Mobility as a Service)」の社会実装を検討するために「MaaS 研究会」を2月に設置する。2月6日(水)には、同研究会のキックオフセミナー「モビリティ革命の先にある全産業のゲームチェンジ」を開催する。
- MaaS は、既存の交通サービスとカーシェアや配車サービスなどの新しい交通サービスを統合し、一つのスマートフォンのアプリを通してルート検索、予約、決済機能にアクセスできる仕組み。マイカーと同等以上に魅力的なモビリティサービスを提供することで、持続可能な社会を築こうとする新しい価値観やライフスタイルを創出する概念として注目を集めている。
- 最近、鉄道、バス、自動車、IT系など多くの企業がそれぞれにMaaSの検討を進めているが、データをオープンに扱うプラットフォームを構築するには、業種や企業規模の垣根を越えた連携が必要。そこで、大阪商工会議所では、関心企業や行政が集う場としてMaaS研究会を2月に設置し、そのキックオフセミナーを2月6日(水)に開催する。当面は情報共有、情報交換を目的として活動し、4月以降にはさらなる拡大を目指す。



MaaSのイメージ

(出所:『MaaS』井上岳一他、日経BP社、2018年 P21)

大阪商工会議所のプレスリリース

研究会に参加していた鉄道7社（Osaka Metro、近鉄、京阪、JR西日本、南海、阪急、阪神）で情報共有の必要性を感じ、同年4月より「関西MaaS情報交換会」を開始

ニュース

大阪商工会議所 MaaS研究会始動 関西の企業を中心に約200名が参加

2019/2/7(水)



大阪商工会議所は2月6日、MaaS研究会のキックオフセミナーを開催した。関西の企業を中心に、交通、自動車、金融、商社、IT、通信、エネルギーなどのさまざまな業種から約200名が参加した。

開催を報じる記事（「LIGARE」ホームページより）

2019年10月31日

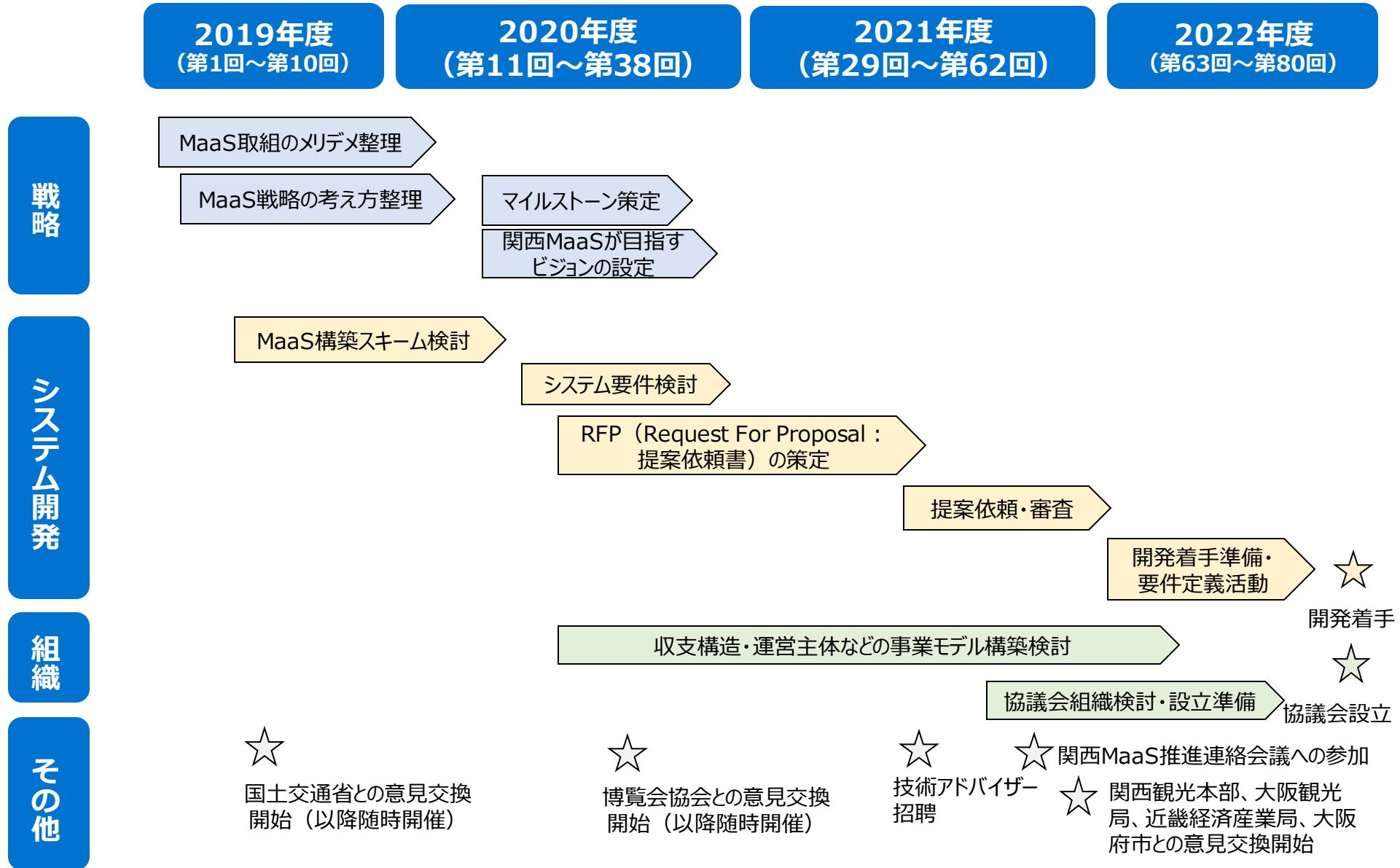
大阪市高速電気軌道株式会社
近畿日本鉄道株式会社
京阪ホールディングス株式会社
南海電気鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
阪急電鉄株式会社
阪神電気鉄道株式会社

関西・鉄道7社によるMaaS共同検討について

関西に主要路線を持つ、大阪市高速電気軌道(株)、近畿日本鉄道(株)、京阪ホールディングス(株)、南海電気鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)は、今般、7社で「関西MaaS検討会」を組織し、MaaS (Mobility as a Service) の導入について共同して検討することに合意しました。

2025年に開催される大阪・関西万博に向け、関西地域において出発地から目的地までのシームレスな移動手段をご提供するためにMaaSを実用化することを視野に入れ、2020年度内を目途に、①関西地域におけるMaaSのあるべき将来像、②関西鉄道事業者間の連携を前提としたMaaSシステムの構築などについて共同で検討を進め、随時情報発信を行ってまいります。

2019年10月、鉄道7社によるMaaS共同検討を行う旨を発表
→検討体制を整え、同年12月に「第1回関西MaaS検討会」を開催
→以降、概ね隔週の頻度で開催し、2022年11月の改組までの間、計80回開催



・関西地方におけるMaaSの取組に関して、交通・観光分野をはじめとする幅広い業種間での連携を促進し、取組を協同で実施していくことを目的として、2021（令和3）年12月に設置

関西MaaS推進連絡会議について

参考資料 国土交通省

○MaaSは、モード・業種横断的に幅広い事業者間で連携し、広域的に提供されることで利用者の利便が増進。
○特に関西地方においては、2025年に大阪・関西万博を控えるとともに、豊富な観光資源を有していることから、広域的なMaaSの活用による効果は大きいと期待される。
○MaaSの取組に関して、交通・観光分野をはじめとする幅広い業種間での連携を促進し、取組を協同で実施していくという目的で、関西MaaS推進連絡会議を設置する。



関西MaaS推進連絡会議の概要
(近畿運輸局ホームページより)



会議の様子

- ・2022年11月8日、「関西MaaS検討会」を進化させ、サービス構築・運営に係る推進・意思決定を担う組織として「関西MaaS協議会」を設立
- ・同日開催された「第2回関西MaaS推進連絡会議」の場で発表
- ・関西MaaS検討会は関西MaaS協議会の運営委員会へと移行し、引き続き協議会運営に係る企画・計画・検討ならびに意思決定機関としての役割を担う

2022年11月8日

大阪市高速電気軌道株式会社
近鉄グループホールディングス株式会社
京阪ホールディングス株式会社
南海電気鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
阪急電鉄株式会社
阪神電気鉄道株式会社

関西・鉄道7社共同によるMaaSの構築について
～国内初の鉄道事業者連携による広域型MaaSを関西一円で展開～

関西に主要路線を持つ、大阪市高速電気軌道株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社(以下「鉄道7社」という。)は、関西地域の交通事業者間の連携を前提としたMaaS (Mobility as a Service) システムを共同で構築し、関西地域にお住まい、またはご来訪されるお客様を中心にお使いいただける「(仮称)関西MaaSアプリ」を2023年夏頃(予定)を目途にリリースすることに合意しました。複数の鉄道事業者によるMaaSシステム及びMaaSアプリの共同構築は、国内初の取組となります。

7社によるプレスリリース



協議会設立の発表
(第2回関西MaaS推進連絡会議)

「関西MaaS」機能高度化事業が、国土交通省「令和5年度日本版MaaS推進・支援事業」6事業の1つとして採択

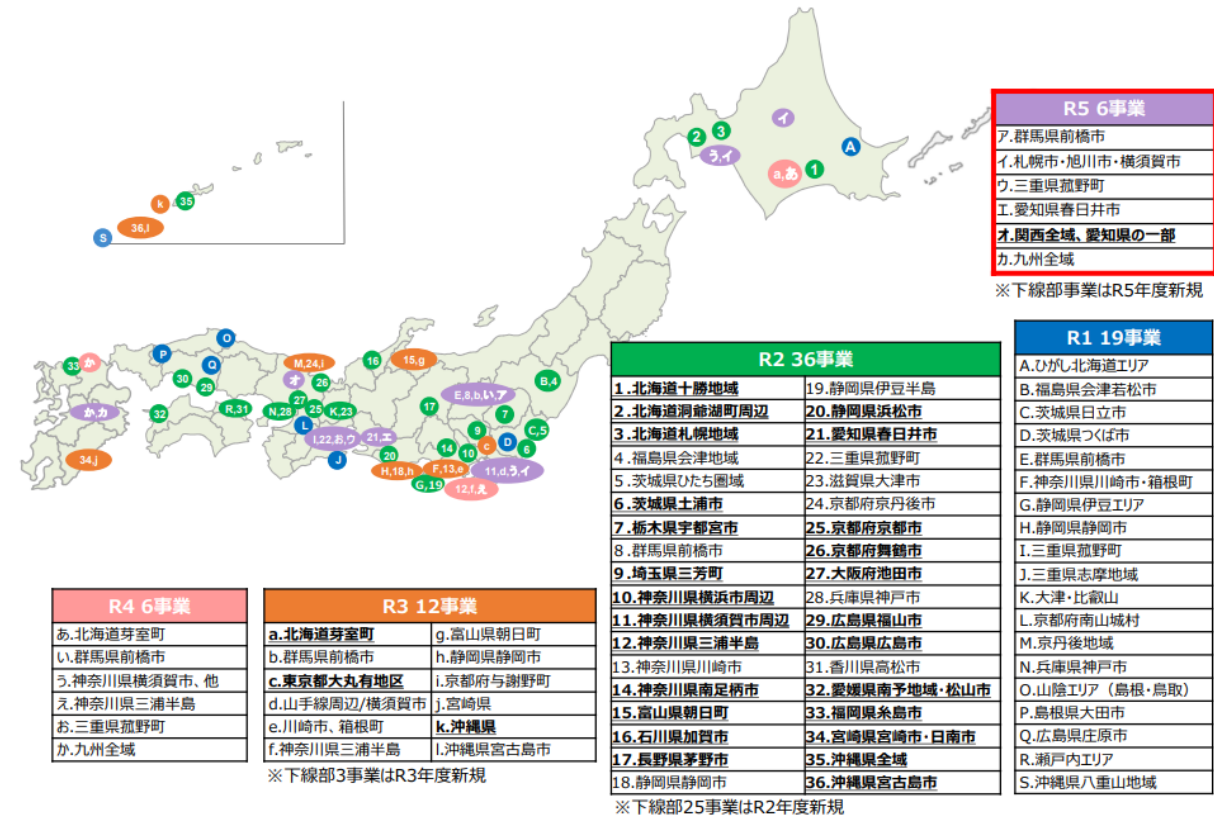
「関西MaaS」機能高度化事業

2023年夏にローンチを予定している、関西鉄道事業者の連携によるMaaSである「関西MaaS」について、万博との機能連携も見据え、2025年大阪・関西万博に向けた観光需要促進機能の高度化を推進する。

協議会の構成員	【協議会代表】大阪市高速電気軌道㈱ 近鉄グループホールディングス㈱、京阪ホールディングス㈱、 南海電気鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱、阪急電鉄㈱、阪神電気鉄道㈱	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> 関西交通事業者の幅広い連携を通じた移動サービスの高度化 2025年大阪・関西万博来場者の輸送円滑化と観光需要促進 	
事業概要	サービス開始時期	サービス開始：2023年夏（予定） 機能高度化実装：2023年度末（予定）
	事業エリア	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、三重県、和歌山県及び愛知県の一部
MaaSシステム	MaaSシステム	協議会により新規構築
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> 経路検索機能：一般的機能のほか、協議会構成員（大阪市高速電気軌道、近畿日本鉄道、京阪電気鉄道、南海電気鉄道、西日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、協議会構成員グループ事業者等）の静的・動的データ（駅構内図・列車走行位置）に連携する機能を有しており、順次連携を拡大 電子チケット：協議会構成員の企画乗車券を順次収容
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> 観光データベース：関西一円の主な観光施設・イベント情報を掲載 電子チケット：自治体・観光団体との連携により、関西一円の観光施設入場券等を順次収容 	
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 関西MaaSは関西一円の交通事業者との連携を視野に入れた、日本初の本格的な大規模MaaSとして構築するもので、当面は2025年大阪・関西万博との連携による利用促進を目的として、将来的には広く公共交通の利便性向上に寄与し、多くの交通事業者等が活用できるデータ連携基盤となることを目指している。 	



日本版MaaS推進・支援事業の拡大



- ・2023年9月5日、関西のおでかけに便利な機能が数多く盛り込まれたスマートフォンアプリ「KANSAI MaaS」をリリース
- ・主に関西地域におけるマルチモーダルでの乗換経路検索、電子チケットサービス、レジャー・宿泊施設・モデルコース等の観光関連情報の各サービスに加え、駅構内図や列車走行位置情報への連携など鉄道7社ならではの情報サービスも併せてワンストップで提供



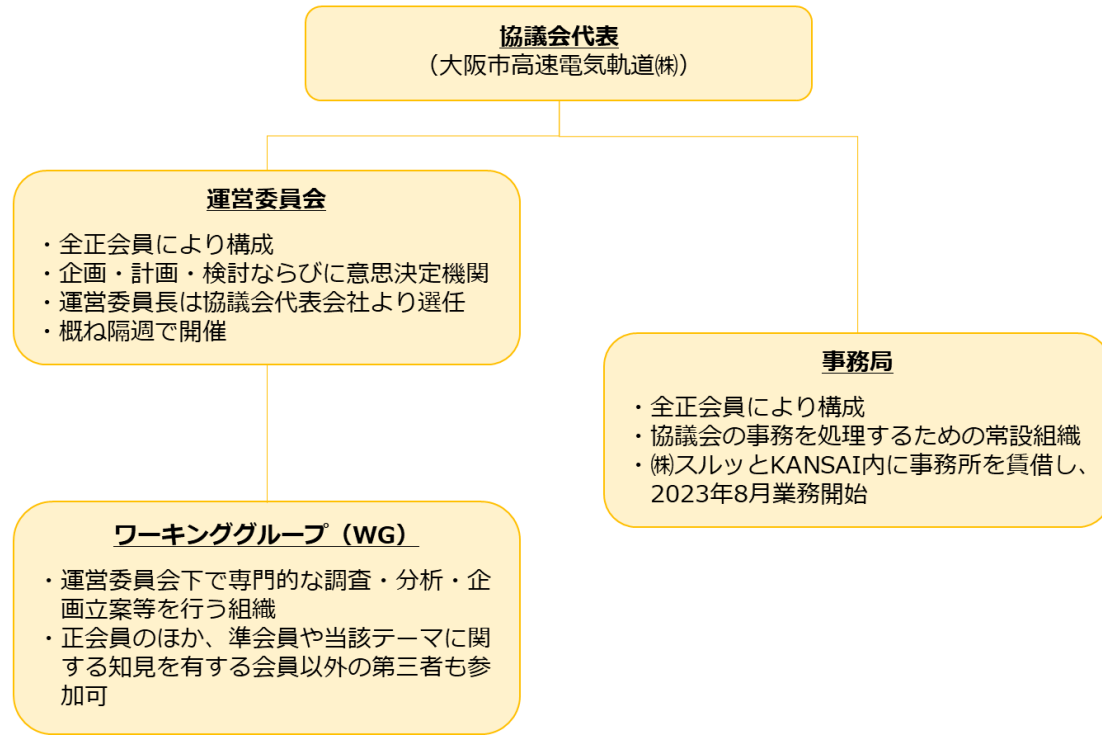
「KANSAI MaaS」アプリのキービジュアル
(車内吊りポスター等で利用)



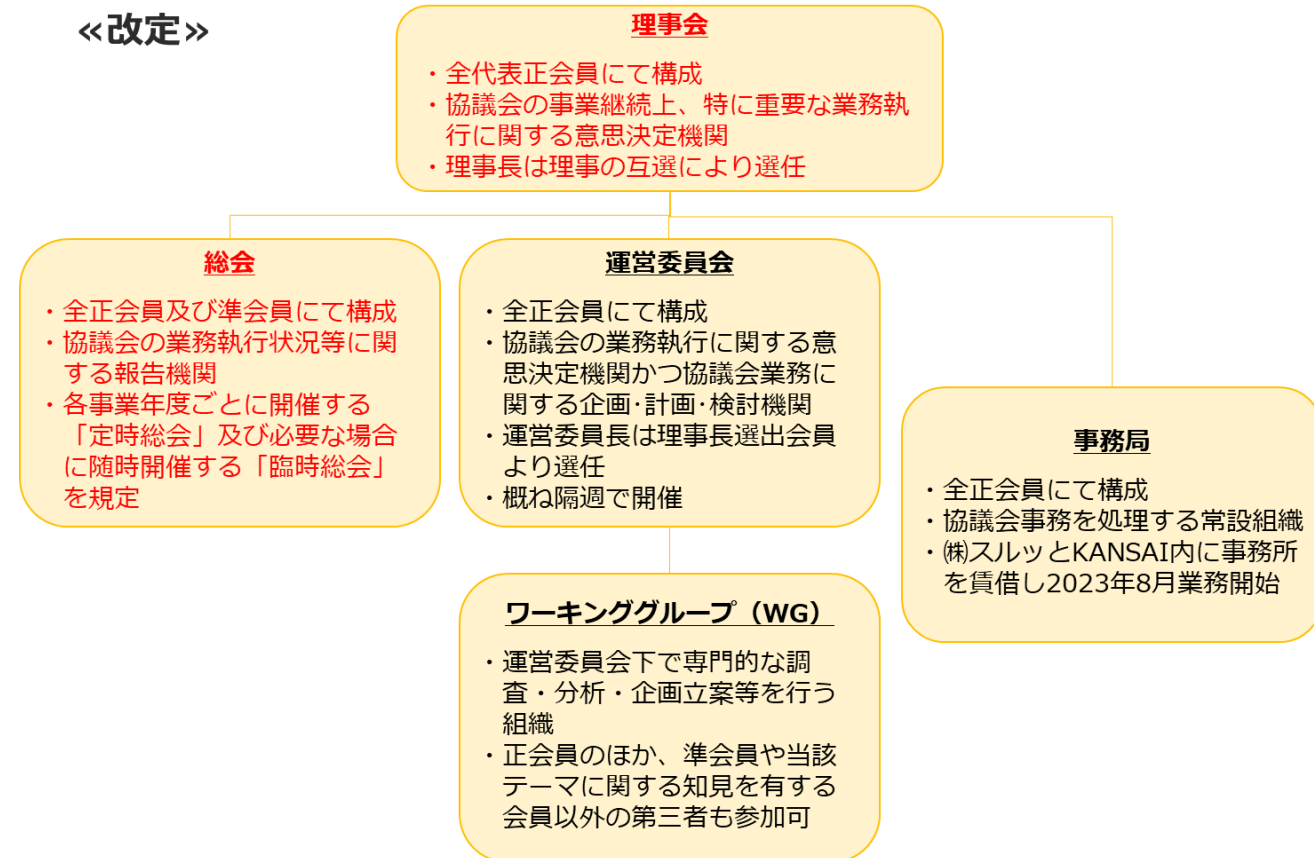
「KANSAI MaaS」アプリの画面イメージ

- ・アプリリリース及び準会員の加入に伴い活動範囲が広がり、2025年万博に向けてさらなる活動の深度化を行っていく必要があることから、最高意思決定機関としての「理事会」を新設
- ・加えて、準会員も含めた全ての会員が対象となる「総会」を新設し、協議会の体制強化を図る

「設立時」



「改定」



- ・2024年3月14日に開催された「第4回関西MaaS推進連絡会議」の場をお借りし、関西MaaS協議会としての初の総会となる「設立総会」を開催
- ・関西MaaS推進連絡会議構成員である7社に加え、準会員39社が出席し、関西MaaS協議会の発展改組につき報告



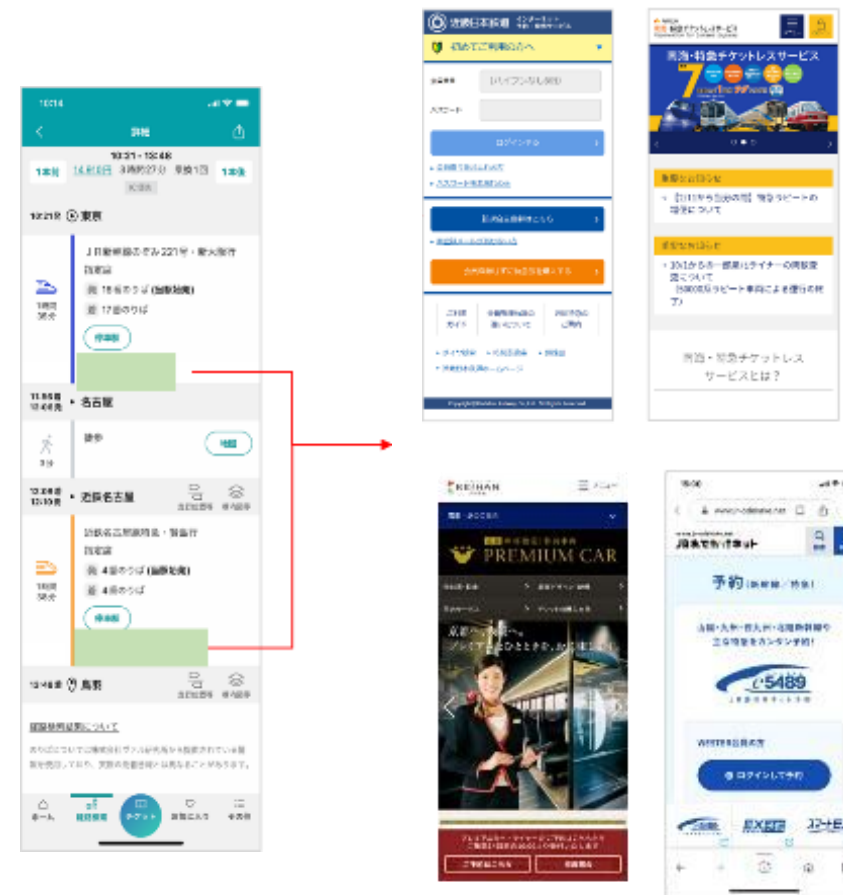
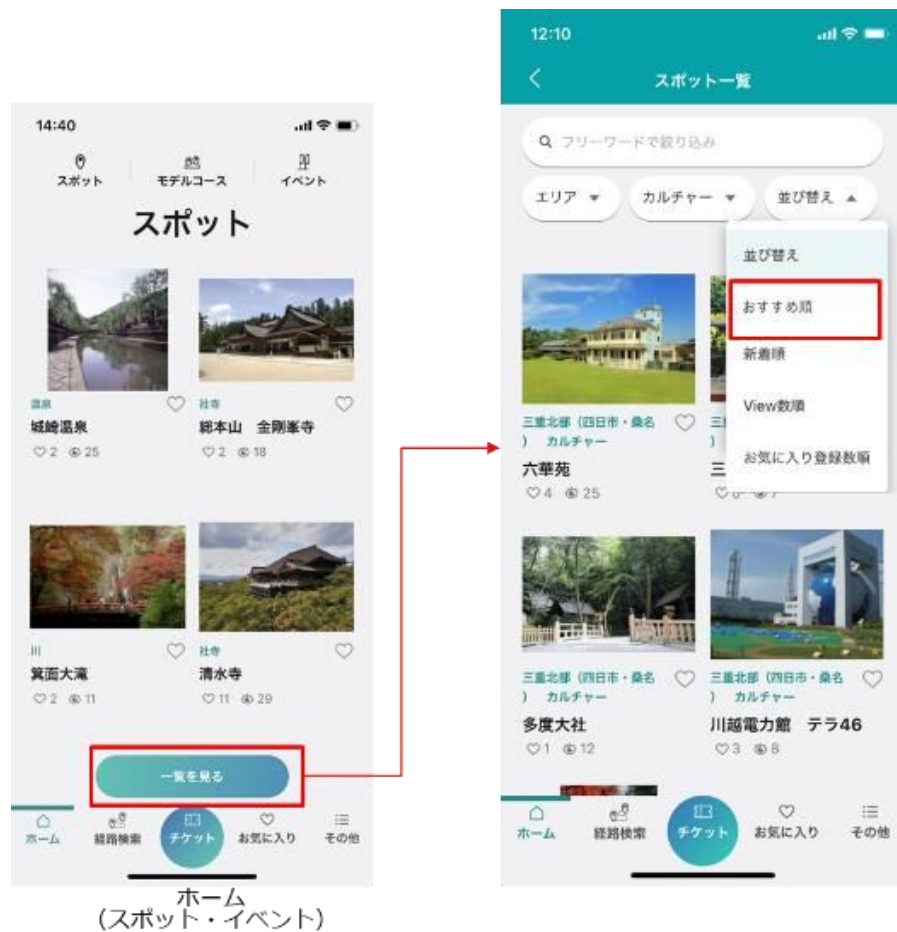
近畿運輸局日笠局長（前列左から4人目）との集合写真

① 顧客属性に基づくレコメンドの情報提供サービス

- 「スポット」画面で「並び替え→おすすめ順」を選択したときにレコメンドエンジンへの問い合わせを行い、顧客属性を利用したレコメンド順で表示

② 経路検索結果で特急料金設定経路が表示された場合に鉄道予約サイトへ連携

- 近鉄・京阪・南海・JR西の予約サイトへ連携



一般型

KANSAI MaaSの海外対応等による混雑緩和対策

【京都府 京都市（京都府京都市）】

【関西MaaS協議会】

様式2-2
事業申請
概要

対象エリアの概要

- 年間観光客数 : 4,361万人
(うち外国人観光客数) : 57万6千人
- 主な観光資源：寺院・神社をはじめとした宗教文化施設や、華道・茶道などの伝統文化、芸舞妓・能・狂言といった伝統芸能

事業費/事業見込額

事業数	2
事業費額	100百万円
補助見込額	50百万円

オーバーツーリズムの現状・懸念・取組実績

特定の時期や時間帯、一部の観光地に観光客の需要が集中

- 観光資源への影響・懸念
 - ・ 「ゴミの散乱」といったマナー問題
- 観光客への影響・懸念
 - ・ 主要観光地へ向かうバスのターミナルや車内が混雑
- 住民への影響・懸念
 - ・ マナー問題などによる地域住民の生活への影響
- 既存の取組
 - ・ 時期の分散化、時間の分散化、場所の分散化、混雑状況の見える化

補助事業内容

● 解決すべき/想定する課題①

著名な観光地への観光客の集中

- 実施する事業①
 - ① 訪日観光客に対し、混雑を避ける京都観光を訴求できる仕組みの構築



■ 期待する効果①

- ① 訪日観光客が、混雑を避ける京都観光を認知し行動変容に繋がれる



● 解決すべき/想定する課題②

観光地への移動手段として、乗り継ぎを必要としない路線バスが最も一般的な交通手段として認知・紹介されているケースが多い。

- 実施する事業②
 - ① 観光客に公共交通利用を促すための企画商品を販売



■ 期待する効果②

- ① オンラインで事前の乗車券購入により窓口へのと列が減少
- ② 鉄道+徒歩により混雑を避ける移動の促進



- ・関西MaaS協議会規約の定めに基づき、2023年度定時理事会・総会をシェラトン都ホテル大阪にて開催
- ・理事長・役員に加え会員43社が出席、2023年度事業報告・決算報告及び2024年度事業計画・予算計画の報告を行った



定時総会に先立ち定時理事会を開催



定時総会の様子

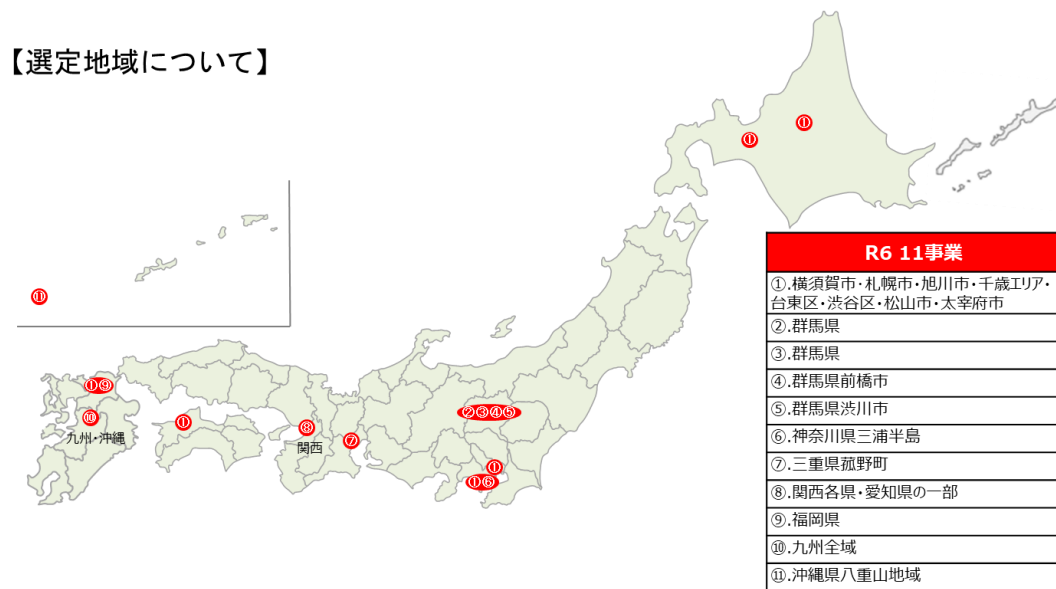
「KANSAI MaaSによる交通事業者連携認証基盤への対応」が、国土交通省「令和6年度日本版MaaS推進・支援事業」11事業の1つとして採択

KANSAI MaaSによる交通事業者連携認証基盤への対応

KANSAI MaaSのデジタル企画乗車券機能を高度化し、多様な交通事業者のQRコード対応改札機が利用可能となる電子チケットをご購入いただける機能を実装する

協会の 構成員	【協会代表】大阪市高速電気軌道㈱ 【代表正会員】近鉄グループホールディングス㈱、京阪ホールディングス㈱、南海電気鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱、阪急電鉄㈱、阪神電気鉄道㈱ ※その他構成員含め81社で構成（2024年4月1日現在）		事業イメージ MaaSを通じて提供するサービスを含む事業イメージ
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> 多数の交通事業者が存在する大都市圏において、広く活用できるサービス基盤及び組織が存在しない 2025年万博に向け、関西広域でシームレスな交通サービスが必要 		
事業 概要	サービス 開始時期	2024年12月	2025年大阪・関西万博 万博会場へのシャトルバス対応 QR乗車券対応（本事業） 外国語（英語）対応
	事業エリア	近畿2府5県（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、三重県）ならびに愛知県の一部	
	MaaS システム	KANSAI MaaS（関西MaaS協議会により構築）	
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> 経路検索機能：一般的機能のほか、協議会構成員（大阪市高速電気軌道、近畿日本鉄道、京阪電気鉄道、南海電気鉄道、西日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道他、協議会構成員グループ事業者等）の静的・動的データ（駅構内図・列車走行位置）に連携する機能を有しており、順次連携を拡大 電子チケット：協議会構成員の企画乗車券を順次収容 	
交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> 観光データベース：関西一円の主な観光施設・イベント情報を掲載 電子チケット：自治体・観光団体との連携により、関西一円の観光施設入場券等を順次収容 	評価指標 <ul style="list-style-type: none"> 協議会会員の参画に関する指標（会員数、アプリ活用状況） KANSAI MaaSの利用に関する指標（登録者数、MAU/DL比率、チケット事業者数等） 	
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> 関西MaaSは関西一円の交通事業者との連携を視野に入れた、日本初の本格的な大規模MaaSとして構築するもので、当面は2025年大阪・関西万博との連携による利用促進を目的としつつ、将来的には広く公共交通の利便性向上に寄与し、多くの交通事業者等が活用できるデータ連携基盤となることを目指している。 		今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 既存の移動を補完する新たな移動需要を創出する（事業者視点） DX、CO2削減、高齢化等の時代の要請に応える新たな社会インフラとなる（社会的視点）

【選定地域について】



1. ここまでの歩み
2. これからへ向けた取り組み
3. 未来へのビジョン



2023年9月
サービス開始



機能高度化事業
(レコメンド機能・
特急予約連携)





万博会場への
シャトルバス
対応

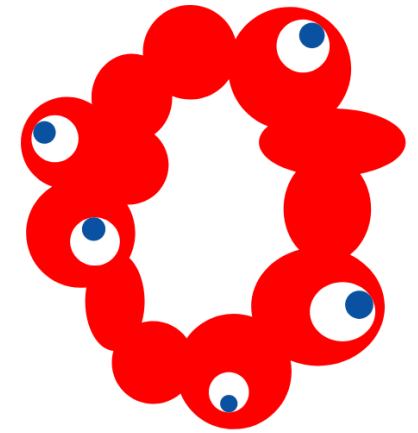


QR乗車券
対応



外国語
(英語)対応

2024年度
予定事業



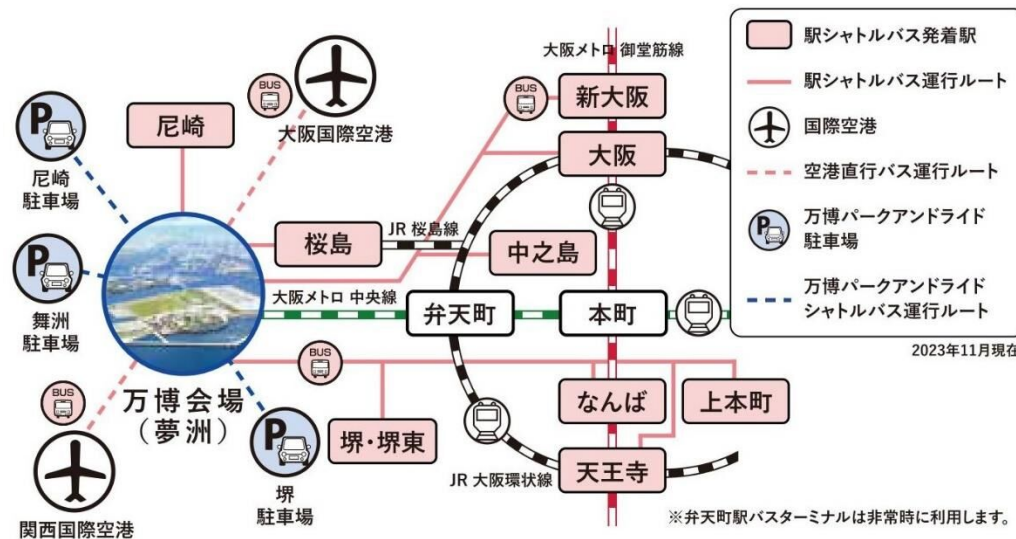
OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

【機能概要】

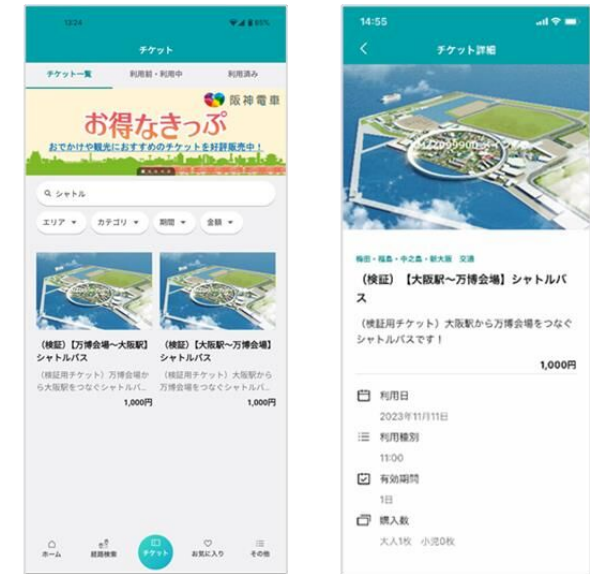
- ・ 万博会場に近隣の主要駅から運行されるバス（駅シャトルバス）の予約・決済をKANSAI MaaSにて一元的に行うためのチケット機能改良
- ・ 予約定員制であるシャトルバスに対応し、各運行会社が乗車時に予約確認を行う機能等を実装

【現在の状況】

- ・ 関西MaaS協議会正会員各社のほか、予約定員制シャトルバスの運行事業者※も参画しWGを実施
- ※近鉄バス(株)、京阪バス(株)、南海バス(株)、西日本ジェイアールバス(株)、阪急バス(株)、阪神バス(株)の各社（いずれも関西MaaS協議会準会員）



シャトルバスの概要（博覧会協会HPより）



画面イメージ

【機能概要】

- KANSAI MaaSでのチケット購入時に、改札機※を通過可能なQRコードを生成し、KANSAI MaaSチケット詳細画面に表示
 - ※スルッとKANSAI協議会が開発するQRコード乗車券サービス「スルッとQRtto(スルッとクルット)」を活用する交通事業者、及び西日本旅客鉄道(株)の改札機が利用可能となる予定
- 上記方式のほか、スマートフォンのカメラ機能により駅等に掲出するQRコードを読み取って乗車する方式にも対応
- 付帯機能として、複数名分の乗車券類を一括購入したのち、他の端末にその一部を分配する機能も構築（目視方式では複数名分を一括で呈示することが可能であるが、改札機は一人ずつ通過する必要があるため）

【現在の状況】

- 2024年末の機能実装に向け、今年度開発内容について精査中
- 万博開催時等にKANSAI MaaSにて発売する企画乗車券等の販売条件等を検討中

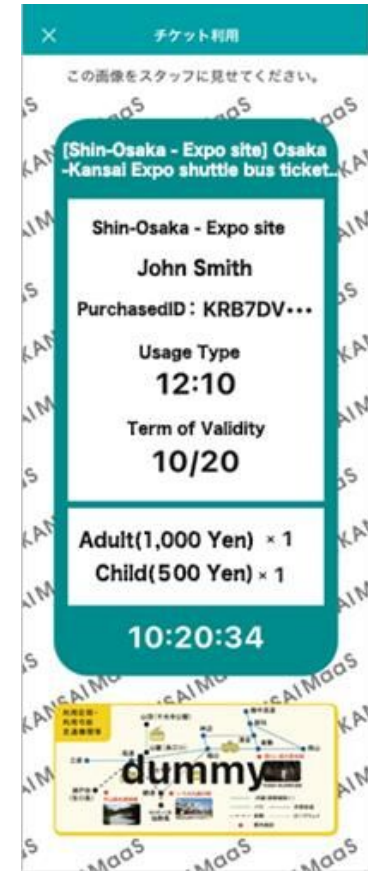


【機能概要】

- 2024年秋をめどに、現在のKANSAI MaaS Webサイトの英語対応を行い、海外の方が関西エリアの観光スポットやイベント情報を閲覧できるよう改修を行う。
- さらに、2024年度末を目途に、チケット機能を含むKANSAI MaaSアプリの一部機能をweb化し英語対応を行うことにより、万博にお越しになる海外の方も、日本に来てからアプリをダウンロードしていただくことなく、webサイトから英語でチケット購入ができる環境を整える。

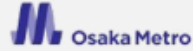
【現在の状況】

- 2024年秋のwebサイト英語対応に向けた準備作業（規約の英語化等）を実施中
- KANSAI MaaSアプリの一部機能web対応及び英語対応に向けた要件定義・基本設計活動を実施中
- 海外在住者のチケット購入が可能になることに伴う海外個人情報保護法令対応につき、関西MaaS協議会にて検討中



会員数：82社（2024.7.1現在）

代表正会員：7社



阪急電鉄



グループ正会員：3社



阪急阪神ホールディングス株式会社

準会員：72社（府県は本社所在地で表示）

（兵庫県：13社）

- ・神戸市交通局 ・神戸新交通 ・神戸電鉄 ・神戸六甲鉄道
- ・山陽タクシー ・山陽電気鉄道 ・山陽バス
- ・神姫バス ・神鉄タクシー ・神鉄バス ・早駒運輸
- ・阪神タクシー ・阪神バス

（大阪府：22社）

- ・大阪山陽タクシー ・大阪シティバス
- ・大阪神鉄豊中タクシー ・大阪水上バス
- ・大阪阪神タクシー ・大阪モノレール ・関西空港交通
- ・北大阪急行電鉄 ・近鉄タクシー ・近鉄バス
- ・近鉄レンタリース ・泉北高速鉄道 ・南海バス
- ・西日本ジェイアールバス ・能勢電鉄 ・阪堺電気軌道
- ・阪急観光バス ・阪急タクシー ・阪急バス
- ・阪神ステーションネット ・水間鉄道
- ・JR西日本レンタカー&リース

（和歌山県：9社）

- ・熊野御坊南海バス ・相互タクシー（和歌山）
- ・南海フェリー ・南海りんかんバス ・明光バス
- ・龍神自動車 ・和歌山電鐵 ・和歌山バス ・和歌山バス那賀

（京都府：10社）

- ・京都市交通局 ・叡山電鉄 ・京都京阪バス ・京都バス
- ・京阪京都交通 ・京阪バス ・京福電気鉄道
- ・嵯峨野観光鉄道 ・丹後海陸交通 ・WILLER TRAINS

（滋賀県：3社）

- ・江若交通 ・比叡山鉄道 ・琵琶湖汽船

（愛知県：1社）

- ・名古屋近鉄タクシー

（三重県：7社）

- ・伊賀鉄道 ・三交伊勢志摩交通 ・三交タクシー
- ・八風バス ・三重急行自動車 ・三重近鉄タクシー
- ・三重交通

（奈良県：3社）

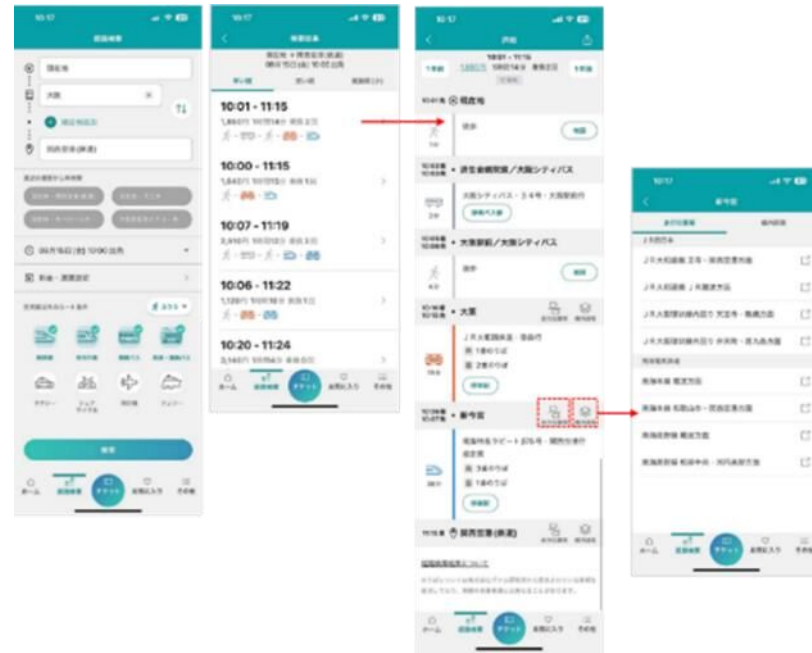
- ・エヌシーバス ・奈良近鉄タクシー ・奈良交通

（その他：4社）

- ・ドコモ・バイクシェア ・GO ・NearMe ・OpenStreet



会員サイトへの連携
(67社/82社)



経路検索結果から
構内図/列車走行位置へ連携
(16社/82社)



経路検索結果へのバナー設置
(7社/82社)



企画商品の発売
(16社/82社)

【発売中29商品、発売終了1商品（7/23現在）】



- (兵庫県)**
- ・太閤の湯入館券
 - ・玄武洞ミュージアム入館券
 - ・玄武洞ミュージアム入館・体験セット券
 - ・かばんのたなかマイバッグ手作り体験
 - ・バス旅ひょうご 北淡路バス乗り放題きっぷ
 - ・神戸・姫路 夏の体験デジタルパス
 - ・フェリシモチョコレートミュージアム入館券
 - ・神戸シーバス「boh boh KOBE」(60分クルーズ)乗船券

- (京都府)**
- ・京都鉄道博物館
 - ・東映太秦映画村入村券
 - ・京都鉄道博物館・東映太秦映画村入場セット券
- (京都府・大阪府)**
- ・京阪電車 大阪・京都1日観光チケット

- (滋賀県)**
- ・長浜おでかけパスポート
 - ・彦根城入城券
 - ・坂本ケーブル乗車券
 - ・ミシガンクルーズ
- (滋賀県・大阪府)**
- ・レンタサイクル駅リンクくん一日利用券
- (滋賀県・京都府)**
- ・宇治・大津 紫式部めぐりパス

- (大阪府)**
- ・HEP FIVE観覧車搭乗券
 - ・ハルカス300展望台入場券
 - ・城之内レイコのめっちゃおもろい大阪なぞガイド
 - ・城之内レイコのめっちゃおもろい大阪なぞガイド(キット)
 - ・大阪城 重要文化財乾櫓 見学チケット

- (奈良県)**
- ・松伯美術館／入館券
 - ・大和文華館入場券
 - ・奈良謎解きデジタルパス
 - ・「奈良謎解き寺巡り」キット

- (和歌山県)**
- ・白浜とくとくフリー乗車券
 - ・和歌山満喫わくわくパス
 - ・わかちかレンタサイクル (シティ車)



車内吊りポスター (阪急電車)



駅貼りポスター (JR難波駅)



ツーリズムエキスポジャパン2023にて紹介コーナーを設置&DLキャンペーン実施



西Navi広告 (JR西日本)



公式Xアカウント

【目的】 「KANSAI MaaS」を活用した京都エリアにおける交通に関する課題解決

【メンバー】（正会員）近鉄グループホールディングス、京阪電気鉄道、阪急電鉄、西日本旅客鉄道（準会員）京都市交通局
（当該テーマに関する知見を有する会員以外の第三者）京都市

【当面の対策】

- ・京都市内に位置するWGメンバーの駅※を目的地として検索した場合、検索結果画面から京都市観光協会が提供する「混雑回避に役立つ京都観光快適度マップ」にリンクするバナーを設置 ※近鉄・京阪・阪急・JR西日本及び京都市交通局の計79駅
- ・経路検索結果に「京都駅前／京都市営バス」が含まれる場合に「構内図等」のアイコンを表示し、「混雑回避に役立つ京都観光快適度マップ」内で京都駅前バス乗り場の観光快適度予測及びライブカメラを提供するページに遷移



京都観光快適度マップへの連携



京都駅前バス停ライブカメラへの連携

【今後の方向性】

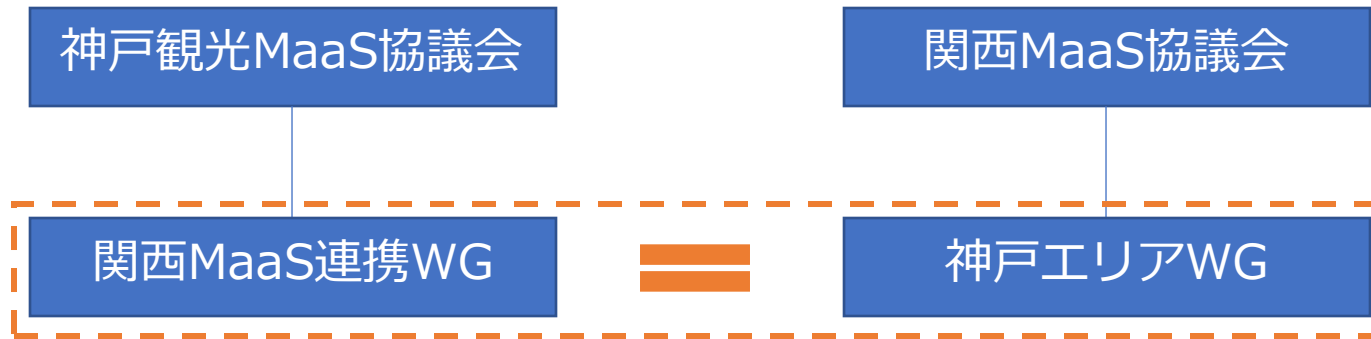
- ・京都市には観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」（事業名：KANSAI MaaSの海外対応等による混雑緩和対策）の連携先となっていており、KANSAI MaaS海外対応実装後の混雑緩和に向けた案内等での連携を予定している。

【目的】 KANSAI MaaSを活用した神戸市における課題解決

【メンバー】（正会員）阪急電鉄、阪神電気鉄道、西日本旅客鉄道（準会員）神戸電鉄、山陽電気鉄道、神戸市交通局、神戸新交通、神姫バス
（当該テーマに関する知見を有する会員以外の第三者）神戸市

【「神戸観光MaaS協議会」との関係】

- 神戸市では、観光誘客の推進と市内の回遊性向上のため、公共交通と観光施設との連携により移動の利便性を向上させるMaaSの実現にあたり、専門的な知見を求めるとともに、事業者間の連携を促進することを目的に「**神戸観光MaaS協議会**」を設置（2024.1.15開催）
- 同協議会の下に「**関西MaaS連携WG**」を設置し、関西圏から神戸市への誘客手法等について協議
- 「**関西MaaS協議会神戸エリアWG**」と「**神戸観光MaaS協議会関西MaaS連携WG**」は**同一メンバーによる同一の会議体**として、両協議会連携のもと取り組む



The screenshot shows the website for the '第1回神戸観光MaaS協議会を開催します' (1st Kobe Tourism MaaS Council Meeting). It includes a search bar, a navigation menu, and sections for '開催日時' (Date and Time), '開催場所' (Venue), '議題（予定）' (Agenda), and '委員' (Committee). The agenda lists topics such as '神戸観光MaaSのありかたについて' and 'MaaSの活用事例・今後の展望'. The committee list includes representatives from various organizations like '神戸市観光局' and '阪急電鉄'.

「万博プラス関西観光推進事業」との連携（関西観光本部）

万博プラス関西観光推進事業に登録されたコンテンツを順次 KANSAI MaaSにてチケット販売



湖北 アートエンタメカルチャーレジャー

長浜おでかけパスポート

料金1,500円、有効期間2日間で長浜市内の対象の観光スポットに入館でき、特典店舗にて割引・記念品の提供も受けられるお得な周遊パスです。めぐればめぐるほど、お得になります。長浜駅観光案内所でカード版に引き換えてご利用ください。

【入場できる施設】

長浜城歴史博物館、長浜鉄道スクエア、慶雲館、ヤンマーミュージアム、海洋堂フィギュアミュージアム黒壁、長浜曳山博物館、長浜別院 大通寺、国友鉄砲ミュージアム、浅井歴史民族資料館、五先賢の館、小谷城戦国歴史資料館、高月観音の里 歴史民族資料館、北炭海・丸子船の館

【割引・特典があるお店】

パンフレットでご確認ください。(ホームページからダウンロードできます)

「万博プラス関西観光推進事業」

購入手続きに進む

「シガリズム」との連携（滋賀県）

滋賀県が展開するニューツーリズム「シガリズム」と連携したモデルコースをKANSAI MaaSにて掲載



信楽サイクリング《シガリズムベダル》

愛らしいたぬきやきもので知られる信楽は、約750年の伝統を誇る「日本六古窯」のひとつ。駅前には、丘に向けて信楽焼の工房が点在する独特のまち並みが広がります。そんな信楽のまちをめぐるなら、電動アシスト自転車が最適。丘上にある焼き物のテーマパーク「滋賀県立陶芸の森」へのすいすい。園内では国内外の作家による陶芸アートを鑑賞。まち中では窯元散策路を自転車であぐらで登り窯の遺構や煙突の迫力に圧倒されたり、工房にある作品群を眺めたり。

米原サイクリング《シガリズムベダル》

霊峰・伊吹山の裾野に広がる米原市。豊かな森が蓄えた水は、神との戦いで傷ついた日本武尊を癒したと伝わる「居醒の清水」をはじめ、姉川や天野川といった清流となって琵琶湖を潤しています。そんな涼やかな水源の里は、夏のサイクリングにぴったり。さわやかな風を受けて自転車で走れば、米原の自然に溶け込んだイングリッシュガー

“Factorism”との連携（大阪府八尾市）

関西地区最大級の地域一体型オープンファクトリーイベント “FactorISM”の参加企業を観光スポットとして掲載



「KANSAI MaaS」に“FactorISM”の参加企業がスポットとして続々登場します！

2024年6月4日 2024年6月6日 80アクションスタッフ

皆さんは、「KANSAI MaaS」をご存じですか？

「KANSAI MaaS」とは、近鉄グループホールディングス株式会社と関西に主要路線を持つ鉄道7社を運営主体とする関西MaaS協議会が提供している広域型MaaSアプリです。

ルート検索からスポット情報まで関西2府5県のおでかけをもっと楽しく、スマートにするアプリとなり、2025年の大阪・関西万博に向けて、順次サービス内容を拡大していく予定です。

お得な周遊チケットの他、便利なクーポン、エンタメ機能も搭載しており、スマートフォン1台で便利・おトク・楽しい体験を満喫できるんです！

そんな「KANSAI MaaS」に、関西地区最大級の地域一体型オープンファクトリーイベント“FactorISM”の参加企業が観光スポットとして続々と登場する予定です。

関西広域に広がる今年の【FactorISM2024- 備す】（開催期間：2024年10月24日（木）～10月27日（日））を、「KANSAI MaaS」をつかってより便利に、より楽しく周遊してみてください！！

※1）アプリの詳細は、「KANSAI MaaS」紹介サイトをご確認ください。

URL: <https://www.kansai-maas.jp/jp/>

ホーム	アクション	わたしの80アクション	TEAM EXPO	大阪パビリオン	イベント情報	グッズ
Home	Introduction	My 80 Actions	Team Expo	Osaka Pavilion	Event	Goods

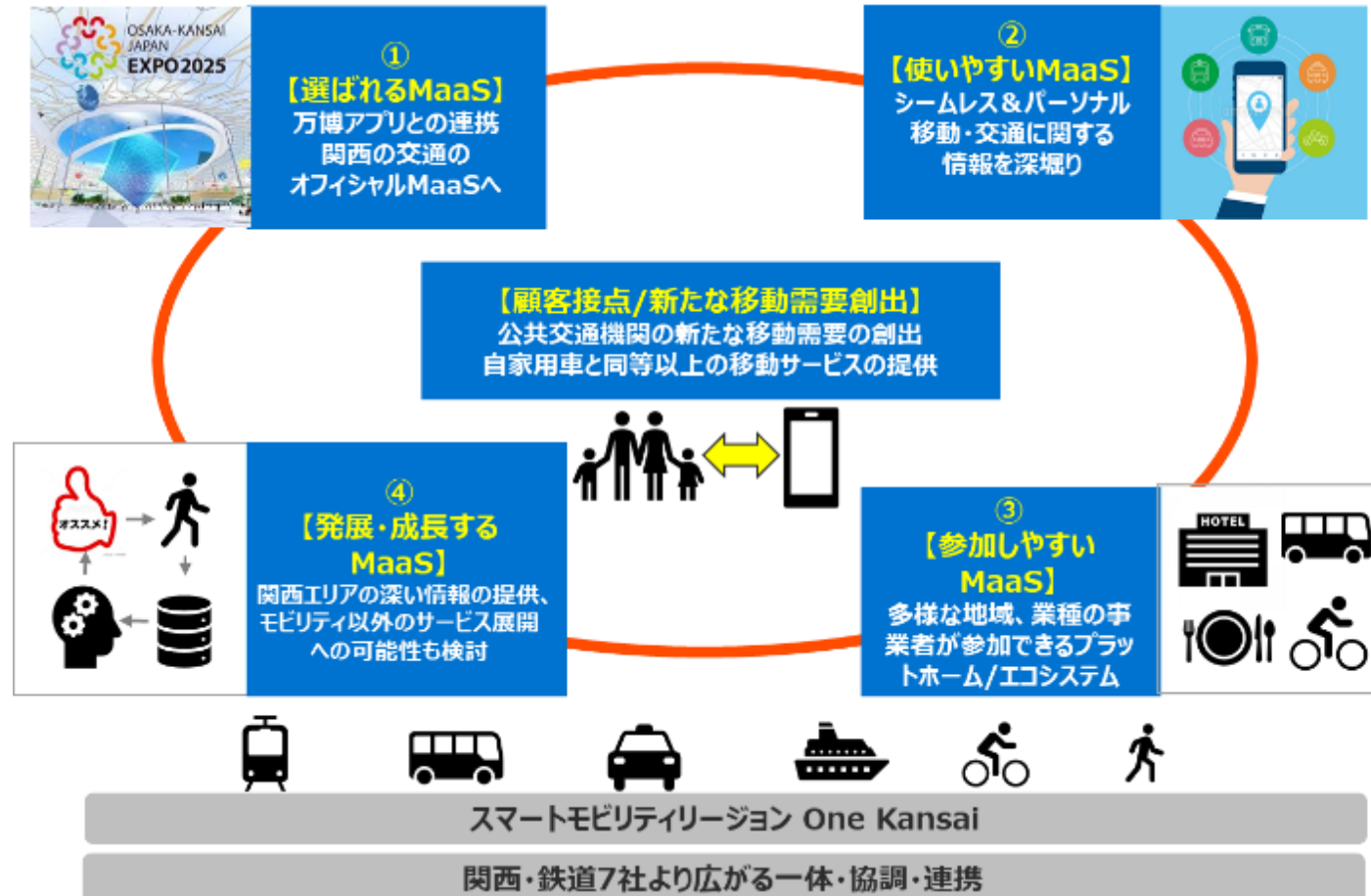
iPhone: <https://apps.apple.com/jp/app/id6447952540>

Android: <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.kansaimaas.app>



1. ここまでの歩み
2. これからへ向けた取り組み
3. 未来へのビジョン

- 関西MaaS協議会の目的は、**関西で最もユーザーに利用されるMaaS**を開発し、サービスを提供することである。
- 具体的なMaaSの姿としては、①【**選ばれるMaaS**】、②【**使いやすいMaaS**】、③【**参加しやすいMaaS**】、④【**発展・成長するMaaS**】であり、それらを実現することによって、新たな移動需要創出を目指している。
- 当面の目標は、**2025年の大阪・関西万博にお見えのお客様に対し、「関西MaaS」が他のアプリにはない関西圏の公共交通を円滑に利用いただけるためのサービス**（関西全域をカバーした豊富な情報、関西一円の交通機関を含んだ多様な商品）をワンストップで提供することである。



ビジョン	目指す姿	これまで／今後の主な取り組み
① 選ばれるMaaS	<ul style="list-style-type: none"> ・万博アプリとの連携 ・関西の交通のオフィシャルMaaSへ 	<ul style="list-style-type: none"> ・万博会場向けシャトルバスの取扱いをKANSAI MaaSにて実装し万博アプリと連携 ・関西MaaS協議会会員82社のサービスと連携し、関西広域MaaSとしての位置を確立へ
② 使いやすいMaaS	<ul style="list-style-type: none"> ・シームレス&パーソナル ・移動・交通に関する情報を深掘り 	<ul style="list-style-type: none"> ・シームレス：関西エリアの交通事業者で広く活用可能なQR乗車券対応予定（2024冬） ・パーソナル：利用者の属性等に応じたレコメンド機能の実装（2024.3） ・会員交通事業者の構内図、走行位置情報への連携機能
③ 参加しやすいMaaS	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な地域・業種の事業者が参加できるプラットフォーム/エコシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者だけでなく、モビリティ関連企業も協議会準会員として参画 ・自治体等とは解決すべき課題に応じワーキンググループの設置により連携
④ 発展・成長するMaaS	<ul style="list-style-type: none"> ・関西エリアの深い情報の提供 ・モビリティ以外のサービス展開への可能性を検討 	<p>・今後、自治体や観光団体等、様々な関係者との連携等により社会的使命を果たすためサービス・機能を検討していく</p>
新たな移動需要創出	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の新たな移動需要の創出 ・自家用車以上の移動サービスの提供 	

知見

■ 広域MaaSとしての発展可能性

- ・ 関西鉄道7社の取組みとしてスタートした関西MaaS協議会が、本事業の推進により他交通事業者や地方自治体との協働にも繋がったことで、広域でMaaSを展開しながら域内各地で連携を進展させていく可能性を見出すことができた。

■ 協調領域拡大への営み

- ・ 関西MaaSの領域を鉄道・バスへと広げる中で、各社のMaaS部門のみならず、鉄道事業部門や関連するバス会社なども随時検討体制に加え、実務に基づきつつ、ここからの進化を見据えた開発活動へと繋げることができた。
- ・ MaaSでの連携を下地として様々な部門での連携領域を広げていく営みを行うことで、会員企業のより深い連携に発展する可能性を感じている。

課題

■ 企業の連合体により共同事業を進めていくことへの課題

- ・ 社毎に経営規模・事業方針等が異なることから開発・運用協議に時間を要することが多い。しかしながら共有する事業目的「公共交通機関の新たな需要創出を図り、地域社会さらには次世代のまちづくりに貢献すること」を目指し、丁寧な協議により、円滑な開発・運営に取り組んでいきたい。

■ 大阪・関西万博後のMaaSビジョンについての認識共通化

- ・ 万博時に関西においてMaaSを提供することを当面の目標として営んできた取組みであったが、万博後にサービスを継続する方向性は持ちつつも、その時点のカスタマージャーニーや事業規模、開発構想についての共通認識を持つことが今後の急務であると認識している。
- ・ さらに、協議会各社が提供する会員サービスとの連携、運行情報等の動的データを活用したサービスの深度化、健康や脱炭素といった社会課題への対応等も踏まえた検討が必要と認識している。

【お客さま視点】

・事業者毎のサービスを個別に利用するだけでなく、広域な交通や観光関連情報、複数事業者に跨った交通や施設利用とセットにしたデジタルチケットなど、82事業者が参画する広域型MaaSならではのサービスを使って、**関西2府5県をもっと楽しくスマートに**おでかけいただけます。

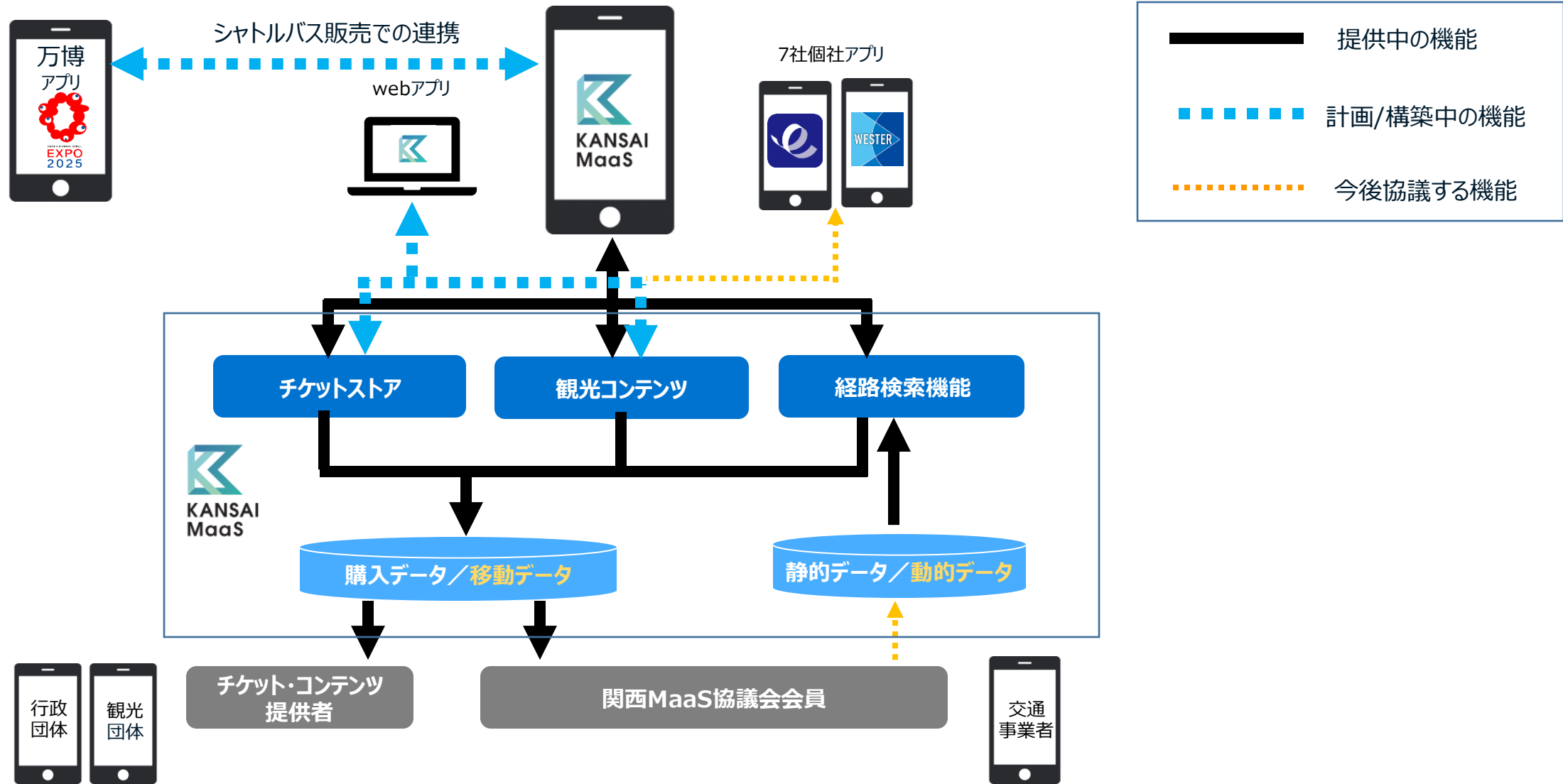


【公共的視点】

・事業者間のサービス連携や広域の情報提供が容易なフィールドを提供することにより、準会員となる交通事業者、エリア内自治体の皆様等と広く連携することが可能となり、**より広域でのサービスを一括で提供**できることを目指します。

【事業者視点】

・他の事業者との連携や広域の情報提供により、自社だけではリーチできないお客さまへのサービス提供が可能となり、自社サービスだけでなく、他事業者と連携したサービスを一括で提供することにより、**プラスアルファの移動需要の創出**を目指します。



ご清聴ありがとうございました。
ぜひ「KANSAI MaaS」をダウンロードいただき、ご感想等お聞かせいただけますと幸いです。



iOS



Android

※Android、Google Play は、Google LLC の商標です。
※Appleは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. の商標です。
※App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
※iOS の商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
※iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。